

外国にルーツのある児童の 小学校における現状と課題

京都女子大学 奥井亜紗子

本報告の構成

1. 当該児童の学校における現状と課題

- (1) 外国ルーツであることの課題の掘り上げの難しさ
- (2) 支援が必要な外国ルーツのある児童のサポート体制
- (3) 教室内での様々な配慮

2. 外国人保護者と学校、子どもとの関係／外国人保護者のみた日本の学校と育児

- (1) 学校と外国人保護者とのコミュニケーション
- (2) 家庭における親子のコミュニケーション
- (3) 日本の学校文化・育児文化に対する外国人保護者の印象

3. その他、見えてきた課題

- (1) 積極的な多文化理解の取組みの少なさ
- (2) 教員からみた外国にルーツのある児童と周囲の児童の関係
- (3) 在外邦人児童の体験入学
- (4) 教員の研修機会

おわりに

1. 当該児童の学校における現状と課題

(1) 外国ルーツであることの課題の掘り上げの難しさ

- ・ 児童個別の発達上の問題との切り分けが困難（金春喜2020）
- …言葉の意味理解の若干の困難、イントネーションの違和感などは日本国籍児童にもみられる。
- …外国籍児童の中でも個人差が大きい。

「（就学前に）日本に来たので、言葉の理解の問題なのか、本人の能力の問題なのか、分からないね、というまま学年を重ねてきた」（中学年） ⇄

「本人が明るく社交的なためクラスにもすぐなじんで、日本語習得も非常に早かった。勉強も良くできて授業内消化もできる。漢字も大丈夫で全くといって良いほど問題らしい問題は抱えていない」（高学年）

<参考文献>

金春喜2020『「発達障害」とされる外国人の子どもたちーフィリピンから来日したきょうだいをめぐる10人の大人たちの語り』明石書店

発達上の問題発見が遅れてしまうリスク

+

外国ルーツゆえの困難を見逃してしまうリスク

<背景>

1. 外国ルーツであることを特別視しないという教員の「**平等主義**」志向
2. 「支援が必要な児童」として一括で引継ぎがなされていること。
…幼小間、小中間の緊密な連携、情報共有。

(2) 支援が必要な外国ルーツを持つ児童のサポート体制

① 多文化共生サポーター（来日後、1年半まで利用可能）

…入り込みで児童の横につく。

…ただし、日程の都合上、週1回～3回午前中など限定的。

「支援者がいる時は新しい課題をすることができる。一方、支援者がいないと新しい課題に進むことはできていない。」

「説明の必要な国語だったり、ジェスチャーだけでは難しい危ない実験の授業などは時間割を午前中に移すなどの形でなるべく調整した」

★就学前に来日した児童は制度が利用できない場合あり。

② にほんご豊岡あいうえお／豊岡市国際交流協会など日本語教室

…自宅が教室から遠い場合は放課後に学校の教室で行う。

…担当教員へのきめ細やかなサポート、情報提供。

「支援員もなくなり、ALTの助けも借りられないとなると、あいうえおさんだけが頼り」

(3) 教室現場での様々な配慮

- ・ 座席の配慮

一番前の席にする／見て真似ができる児童を隣の席にする、など。

- ・ 全体への指示が通りにくい場合は個別に指示を出す。

- ・ 日本語が出来ないと理解が難しい授業（国語、道徳など）の時は、漢字プリントの学習をさせていることもある。

…学習や宿題に違いがあることは、**クラス全体に説明し理解を促す。**

- ・ 外国にルーツのある児童の良い所や頑張っている所などを、意識して他の児童に伝えるようにしている。

⇒ 当該児童への配慮 + 他児童との関係性への配慮。

「先ほどからお話していて自分でも気づいたんですけど、やっぱり個別に支援が必要なことは、特に大きな問題はないと言いながらもやはりある。」

2. 学校と保護者の関係、家庭の状況、外国人保護者の みた日本の学校と育児

(1) 学校と外国人保護者とのコミュニケーション

- ・外国人保護者の日本語能力は個人差が大きい。
- …やさしい日本語を使う、通信にふりがなをつける、など個別の対応。
- …特に電話でのやりとりに困難を感じているケースが多い。
- ・日本人父親の学校教育との関わりの多寡
- …PTA役員等引き受け／学校とのやり取りの窓口を担う、など。
- …ただし、高齢の父親はあまり学校に出てこない。
- ・親族、地域ネットワークによるサポート
- …母親の日本語理解に問題があり、父親も連絡が取りにくい児童は、
他小学校区在住の叔母や近所に住む他児童保護者に連絡を取り持ってもらっている。

(2) 家庭における親子のコミュニケーション

・家庭における使用言語

外国籍児童：外国人の親の母語

日本国籍児童：ほぼ日本語？

⇒担当教員が把握していないケースが多い。

★特に日本国籍児童で日本語に問題がないケースは等閑視されがち。

…学校生活に支障がなくても、成長につれ親子間での細やかな意思疎通が難しくなってくるケースもある。

・親の母語や母文化を身に着ける、維持するために特に何かしているか？

…殆ど把握されず。

⇒教員側の関心は学校生活への適応に偏りがち。

(3) 日本の学校文化・育児文化等に対する外国人保護者の印象

* 教員と保護者との関係

母国：「**教員のほうが立場が上**」 ⇔ 日本：**教員が親に気を遣う**

「母国ではモンスターペアレントはない。」 「日本の先生は相談しやすい」

【背景】 学校の位置づけの違い

母国：勉強を教えるところ（落第や飛び級もあり）

⇔ 日本：勉強 + しつけや生活面の指導を行うところ

例) 運動会指導（全体行進や組体操） / 掃除の時間などへの戸惑い
…ただし、意味が分かると良い面としても評価。

例) 勉強が出来なくても進級できる日本の学校のシステム
…子どもの学力についての認識の齟齬が生じるリスクも。

* **平等であること** / 経済格差を可視化させない配慮

- ・ 母国：身なり / 昼食 / 先生の態度 / 学校 … 経済力によって異なる
⇨ 日本：皆が同じものを食べる給食 / 髪飾り等の禁止

* 「気遣いの文化」のなかでの育児に対する戸惑い

- ・ 子ども同士の遊ばせ方

日本：事前に親同士で連絡をして水筒とおやつを持って行く。

⇨ 母国：勝手に家に上がる子ども / おやつもご飯も適当に食べさせる。

- ・ ママ友との距離感… 「今から会いましょう」がしにくい日本
- ・ 子どもが泣いたり騒いだりすること

母国：お互い様だから気にしない

⇨ 日本：とにかく気を遣う。泣いている子に対しても話しかけにくい

⇒ **日本での子育ては「プレッシャーを感じる」「孤独」**

3. その他、見えてきた課題

(1) 学校での積極的な多文化理解の取組みの少なさ

- ・特に外国にルーツのある児童がいるということで多文化理解のための積極的な取組みはしていない。

- ・食育や生活の時間を利用して外国人保護者に母国の料理を作ってもらう取組みは2例あり（中国・フィリピン）。

…ただしいずれも単発的、偶発的。

<背景>

- ・就学前から共に育ってきた仲間の異質性を強調することへの躊躇

…特に小規模校ヒアリングにおいては、外国にルーツのある児童が「日本人児童と変わらない」ということが強調されがち。

→同質性圧力の強さの裏返し？

(2) 教員からみた外国にルーツのある児童と周囲の児童の関係

- ・周囲の児童は外国にルーツのある児童の存在を自然に受け止める。
- ・当該児童も外国ルーツであることを隠さない。

…むしろ教員側に戸惑いがある？

「あけっぴろげ」 「(外国ルーツであることを) 平気で言う」

「以前(の豊岡)は本当に閉鎖的で外国人を見ると引いているようなところがあったが、現在の児童は普通に、同じ友達という考え方になっている。」

「もっと広い世界に出て行っても、田舎にいたことが不利にならないのではないかと思う。」

→児童達のほうが自然に多文化共生を体得している、という教員側の実感

(3) 在外邦人児童の体験入学

- ・ 夏季休暇を利用して日本の学校に体験入学する児童

…日本人児童は「また今年も来たね」「おかえり～」という感じで自然に受け入れる。

「現在はオンラインゲームでつながれるため、帰国してからも児童同士やり取りをしているらしく、(1年ぶりに)来てもすっと入れる」

→空間的隔たりを超えた児童同士の世界のグローバル化

- ・ 学校の温度差

…積極的、好意的に受け入れる学校

⇔教育課程の違いなどから受け入れを躊躇する学校

「お盆の帰省ではないのだから、この時期だけ人数が増えてもねえ。」

(4) 教員の学びの機会をいかに確保するのか

- ・手探りの現場対応

…外国ルーツの児童の担当経験を持つ教員との個人的なつながりのなかで、対応方法のアドバイスを得る。

→ただし、全体としてノウハウを共有する仕組みがない。

- ・研修に参加する時間的余裕のなさ

…にほんご豊岡あいうえおのセミナーからも誘いがあるが、土日開催なので勤務の関係で難しい。

「(県が主催するもののように) 一般の出張扱いになれば参加しやすいが、(学びたい教師の) 自費、自己管理のなかでやってもらうことになる。」

おわりに

1. 教員同士の情報の共有、対応経験の蓄積を進めること
多文化共生をめぐる研修機会の確保
2. 「学校生活への適応」段階から、もう一步踏み込んだ
児童の家庭状況への目配りの必要性
3. 「異質性」を正面から受け止めること

「同質性」による包摂



「異質性」のポジティブな捉えなおし